

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	: フィプロスポット ドッグ
会社名	: 共立製薬株式会社
住所	: 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-5
担当部門	: 品質保証部
電話番号	: 03-3264-7196
メールアドレス	: hinshitsu@kyoritsuseiyaku.com

2. 危険有害性の要約

フィプロスポット ドッグ

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体	: 区分 3
自然発火性液体	: 区分に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	: 区分 4
急性毒性（経皮）	: 区分に該当しない
急性毒性（吸入）	: 区分 4
皮膚腐食性・刺激性	: 区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分 2B
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 区分に該当しない
生殖細胞変異原性	: 区分に該当しない
発がん性	: 区分 1A
生殖毒性	: 区分 1A
特定標的臓器毒性（単回暴露）	: 区分 2（神経系）
特定標的臓器毒性（反復暴露）	: 区分 1（呼吸器、肝臓） 区分 2（中枢神経系、甲状腺、腎臓、血液系）

誤えん有害性	: 分類できない
--------	----------

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期（急性）	: 区分 1
水生環境有害性 長期（慢性）	: 区分 1
オゾン層への有害性	: 分類できない

絵表示またはシンボル



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: 引火性液体および蒸気 : 飲み込むと有害 : 吸入すると有害 : 眼刺激 : 発がんのおそれ : 生殖能または胎児への悪影響のおそれ : 臓器の障害のおそれ（神経系） : 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害（呼吸器、肝臓） : 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ（中枢神経系、甲状腺、腎臓、血液系） : 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性
安全対策	: 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。 : 容器を密閉しておくこと。 : 火花を発生させない工具を使用すること。 : 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 : 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面／聴覚保護具を着用すること。 : 取扱い後は手をよく洗うこと。 : 製品を使用する時は飲食又は喫煙をしないこと。 : 煙／ミスト／蒸気／スプレーの吸入をしないこと。 : 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 : 使用前に全ての安全説明書を入手し、読み、従うこと。 : 環境への放出を避けること。

応急処置	<p>: 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。接触部位を流水（またはシャワー）で洗うこと。</p> <p>: 飲み込んだ場合：医療処置を受けること。口を漱ぐこと。</p> <p>: 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医療処置を受けること。</p> <p>: 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。さらに、眼の刺激が続く場合は、医療処置を受けること。</p> <p>: ばく露またはその懸念がある場合：すぐに救急の医療処置を受けること。</p> <p>: 気分が悪い時は、診察を受けること。</p> <p>: 漏出物を回収すること</p>
保管	<p>: 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。</p> <p>: 施錠して保管すること。</p>
廃棄	: 内容物、容器を国または都道府県の規則に従って廃棄すること

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	: 混合物		
成分及び含有量	: フィプロニル 10%		
	溶剤等	残	
主成分の化学名	: 5-アミノ-1-[2,6-ジクロロ-4-(トリフルオロメチル)フェニル]-3-シアノ-4-[(トリフルオロメチル)スルフィニル]ピラゾール		
通知すべき物質：フィプロニル	10%		
成分名	CAS 番号	化審法 官報公示整理番号	安衛法 官報公示整理番号
フィプロニル	120068-37-3	5-6414	—

4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移す。呼吸が止まっている場合や弱い場合は適切な救命措置を取り、出来るだけ早く医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	: 直ちに石鹼で洗い落とし、多量の水で洗い流す、必要な場合は医師の診察を受ける。
目に入った場合	: 直ちに多量の水で目を洗浄し、眼科医の手当を受ける。
飲み込んだ場合	: 使用者等が本剤を誤って摂取した場合は、口をすすぎ、ただちに医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法	: 火元への燃焼源を断ち消火剤を使用して消火する。熱分解により有害ガスを発生する恐れがあるので注意する。 : 消火活動は風上から行う。 : 周辺火災の場合、周辺の設備などに散水して冷却し、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する。
適切な消火剤	: 泡、粉末、炭酸ガス
使ってはならない消火剤	: 該当データなし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護具及び緊急時措置	: 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
環境に対する注意事項	: 河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材 回収、中和などの浄化の方法及び機材等	: 乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させてから回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項

取扱者のばく露防止策	<ul style="list-style-type: none"> : 取り扱う前には添付文書をよく読むこと。 : 内容液を直接手で触らないこと。内容液が皮膚に付着した場合は、まれに一過性の皮膚反応が起こることがあるので、作業後は石けん等で手をよく洗うこと。 : 本剤投与後、完全に乾くまで（通常4時間程度）は投与部位に直接触れないこと。また、投与したことを知らない人も触れないように注意すること。特に小児がいる多頭飼いの家庭で複数の犬に同時に本剤を投与する場合には、投与した犬と小児との接触を避けること。 : 飲食、喫煙をしながら投与しないこと。
------------	---

保管上の注意事項

保管条件	<ul style="list-style-type: none"> : 火気厳禁 : 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に保管すること。 : 誤用を避け、品質を保持するために、他の容器に入れかえないこと。
------	--

8. ばく露防止及び保護措置

ばく露防止

ばく露限界値	: 該当データなし
生物学的指標等の許容濃度	: 該当データなし
可能な限りばく露を軽減するための設備対策	: 該当データなし

9. 物理的及び化学的性質

物理状態・色	: 無色～黄色澄明の粘性の液体
臭い	: 有機溶剤臭
引火点	: 35℃（タグ密閉式）
発火点	: 100℃以下で発火せず。

10. 安定性及び反応性

避けるべき条件（可燃性）	: 可燃性あり
--------------	---------

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 本製品の成分は、区分3および区分に該当しない成分が含まれているが、加算式により計算した結果、区分4とした。
急性毒性(経皮)	: 本製品の成分は、区分3および区分に該当しない成分が含まれているが、加算式により計算した結果、区分に該当しないとした。
急性毒性(吸入)	: 本製品の成分は、区分2および区分に該当しない成分が含まれているが、加算式により計算した結果、区分4とした。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 本製品の成分は、区分に該当しないおよび区分に分類できない成分が含まれているが、含有量に基づき区分に該当しないとした。
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	: 本製品の成分は、区分2Bおよび区分に該当しない成分が含まれているが、含有量に基づき区分2Bとした。
呼吸器感作性	: 十分なデータがなく、分類できるとした。
皮膚感作性	: 本製品の成分は、区分1および区分に該当しない成分が含まれているが、含有量に基づき区分に該当しないとした。
生殖細胞変異原性	: 本製品の成分は、区分に該当しないおよび区分に分類できない成分が含まれているが、含有量に基づき区分に該当しないとした。
発がん性	: 本製品の成分は、区分1Aおよび区分2の成分が含まれているが、含有量に基づき区分1Aとした。
生殖毒性	: 本製品の成分は、区分1Aおよび区分2の成分が含まれているが、含有量に基づき区分1Aとした。
特定標的臓器毒性、単回ばく露	: 本製品の成分は、区分1および区分3の成分が含まれているが、含有量に基づき区分2（神経系）とした。

特定標的臓器毒性、反復ばく露	: 本製品の成分は、区分1および区分2の成分が含まれているが、含有量に基づき区分1（呼吸器、肝臓）、区分2（中枢神経系、甲状腺、腎臓、血液系）とした。
誤えん有害性	: 十分なデータがなく、分類できないとした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	: 本製品の成分は、区分1、区分2、区分3の成分が含まれているが、含有量に基づき区分1とした。
水生環境有害性 長期（慢性）	: 本製品の成分は、区分1、区分2、区分3の成分が含まれているが、含有量に基づき区分1とした。
オゾン層への有害性	: 十分なデータがなく、分類できないとした。

13. 廃棄上の注意

安全で環境上望ましい廃棄の方法	: 廃棄する場合には、地方公共団体条例等に従い処分すること。
容器・包装の適切な処理方法	: 空容器は適切に処理する。その際「使用上の注意」の記載事項及び可燃性液体に関する注意事項に留意して取り扱う。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 1993
品名	: その他引火性液体、他に品名が明示されていないもの（ジエチレングリコールモノエチルエーテル、無水エタノール）
国連分類	: クラス3 引火性液体
容器等級	: 容器等級III
危険性	: 可燃性
国内規則	: 航空規制情報 航空法の規定に従う。 : 海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。
輸送の特定の安全対策	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等が無いことを確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

容器が転倒、落下、破損しないように充分注意するとともに、輸送前に破損や漏出がない事を確認する。

15. 適用法令

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律	：動物用医薬品
毒物及び劇物取締法	：対象外
労働安全衛生法	：対象外
消防法	：危険物第四類 第二石油類 非水溶性液体 (ジエチレングリコールモノエチルエーテル、 無水エタノール)
化学物質排出把握管理法	：フィプロニル 第1種指定化学物質 含有率：10%含有 政令番号：1-22 【2023年4月1日以後】 ：フィプロニル 第1種指定化学物質 含有率：10%含有 管理番号 22

16. その他の情報

引用文献

- ・ 自社データ
 - ・ 安全衛生情報、GHS 対応 モデル SDS 情報
 - ・ (独) 製品評価技術基盤機構 (NITE) GHS 分類結果
 - ・ (独) 製品評価技術基盤機構 (NITE) 化学物質総合情報提供システム
-